

青洲会病院

7月の1ヶ月間青洲会病院で研修させていただきました。地域の病院ならではの診療を学ばせていただいたり、船で離島に診察に行ったりと普段とは全く違う経験ができました。病院の目の前に平戸大橋と海がみえ、海がない埼玉勤務の私にはお気に入りの景色でした。そしてご飯が美味しくて幸せでした。お世話になった皆様にとっても感謝しています。ありがとうございました。

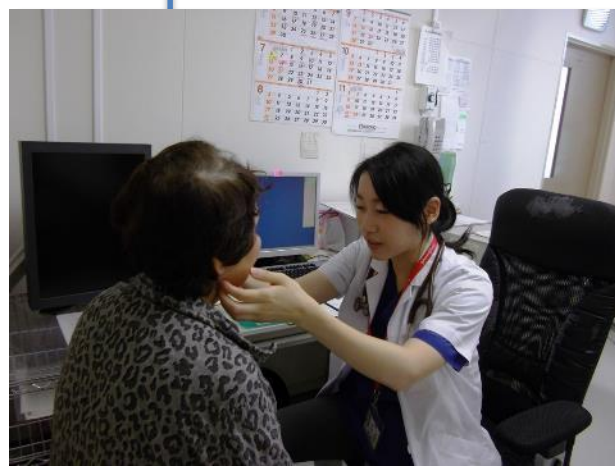
大山 馨子(埼玉医科大学病院)



平戸市民病院

7月は計4人の研修医が集まり地域医療を学ばせていただきました。膨大な人数の健診をこなし、予防という観点の重要性を学びました。外来では幅広い訴えを持つ患者さんたちの診療を経験し、診療科の垣根を越えた幅広い診察力が要求されることを体感しました。訪問診療・訪問看護・訪問リハビリでは患者さんの日常生活に組み込まれた在宅医療を実践しました。大島・度島での離島研修では医療資源の少ない中、市民病院のような中規模病院とうまく連携をとりつつ、島民に慕われながら診療をする医師の姿を間近で見ることができました。優しい職員に囲まれ、平戸の自然、食の幸を楽しみながら楽しく研修を行わせていただきました。

三神 和幸(神鋼病院)
吉田 啓佑(横浜労災病院)
藤井 翔太郎(西神戸医療センター)
尾崎 正英(西神戸医療センター)



生月病院

生月病院では、午前中は外来、午後は往診や健診、老健施設の回診に参加させていただきました。外来の患者さんはみんなが知り合いで、地域に根差した病院だなという印象を受けました。また、初めての経験であった往診では、お家で患者さんのお話を聞き、診察をし、とても印象的でした。私の研修先の病院とは患者さんの年齢層も疾患も異なり、地域で第一線で働くには、専門性を持ちつつも様々な分野の知識を持ち合わせている必要があるのだなと思いました。いろいろ教えてくださった先生方はもちろん、優しく気さくに話しかけてくださったコメディカルや事務の方々のお陰で楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。

長田 典子(長崎医療センター)
木越 宏紀(横浜労災病院)



柿添病院

僕にとっての地域医療のイメージは、プライマリーケアが中心で悪性疾患をはじめとする所謂難しい病気を見つけたら大病院に送る、というものでした。しかし、柿添病院での研修を進めるにつれ、地域の患者さんはこの土地で家族を持ち、仕事をしながら生活を送っており、大きな病院に入院すればいい、と気軽には言えない現状があることに気付かされました。そのような地域の患者さんのニーズに応えるために、プライマリーケアはもちろんのこと、ERCPや腹腔鏡下胃切除など患者さんが希望する限り、できるだけ様々な医療を提供しようという柿添病院のスタッフの方々の熱い気持ちを目の当たりにし、医療と向き合う姿勢について改めて考えさせられました。また、挨拶の元気よさや、看護師さん、リハビリのスタッフの方々も気さくに話しかけてくださりとてもよい雰囲気の中で働かせて頂けたと思っています。飲み会や勉強会も多く、公私ともに充実した1か月間だったと思います。

山下 大生(京都医療センター)